土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	一級河川太田川水系榎川支川11外砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor-5	調査位置	広島県安芸郡府中町山田四丁目外	北緯	34° 23’ 52.5529″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年12月25日～ 令和3年 1月14日	東経	132° 31’ 34.1165″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 113.87m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	4.00m	地盤勾配	10° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機D1-B / エンジン：ヤンマー NFD12 / ポンプ：東邦地下工機BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	113.02	0.85		礫混り砂		暗褐灰 褐灰			未固結の礫混り砂からなる。 径5～60mm前後の角礫が混入。 礫間の土砂は粒径不均一。	
2	111.97	1.90		強風化花崗岩		淡褐灰			花崗岩の強風化部。 岩組織を明瞭に残す。 半固結した礫状で採取される。	
3	109.87	4.00		花崗岩		淡灰			花崗岩(軟岩)。 岩組織を明瞭に残す。 全体に亀裂が発達する。 片～柱状コア主体で採取。 コア肌やや粗い。	
4										
5										
6										
7										
8										
9										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
46	1.15	14	15	17	46 300		
	1.45						
50以上	2.00 2.04	50 40			50 40	40	
50以上	3.00 3.02	50 20			50 20	20	
50以上	4.00	貫入不能			50 0	0	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				1/5 1/6